松尾育成会便り

平成23年度
第25号
松尾青少年健全育成会
広報部

囲碁ボールって楽しい！

―高齢者と児童との交流―

小池徳夫

七月十六日、松尾公民館にて高齢者双葉会の御指導のもと、「ニュースポーツを楽しもう」で囲碁ボールを開催しました。当日は大人子供合わせて五十人程が参加し、まずはやり方やルールを習いゲームを始めました。囲碁ボールは二チームが白黒のボールを各々十個ずつ打ち、先にある凹みにボールを止めて三個以上並べる列をつくるか、凹みに止めたボールの数を競うゲームです。子供たちは初めてやる子が多く、ボールをうまく打てなかったり強弱の加減ができずにとまどっていましたが、そこは子供たちの天性の遊び心と好奇心でメキメキ上達してゲーム性の高さを理解すると“ここに止めて”“弱めに打って”と指示を出せるようになって終わり頃の数ゲームはみんなが大盛り上がりでゲームをしていました。これからも色々なニュースポーツに参加してほしいと思います。

楽しかった囲碁ボール

五年 関島隼人

おじいさん、おばあさんに教えてもらってみんなで囲碁ボールをやりました。

囲碁ボールは二つのチームが白と黒のボールを打ち、止まった位置で得点が決まるゲームです。初めてやったので最初はぜんぜんうまくいかなかったけどコツを習ったら上手にできました。ぼくはうまく打てたボールがくぼみに入った時やゲームに勝った時がとてもうれしかったです。何ゲームもやるうち、どんどんおもしろくなっていきました。

これからは友だちにも囲碁ボールを教えてあげて、みんなで楽しみたいと思いました。

松尾の川の水中生物をつかまえよう

松尾育成会行事部長 秦里佳子

「松尾の川の水中生物をつかまえよう」は、何年も続く育成会の一大行事で、中溝川を例年観察します。子供達が川へ入って遊ぶ機会も減った今、貴重な川遊びの場となり、良い経験になればと思います。

今年は残念ながら予定していた日が二日とも雨に見舞われたため、予備日に今回初めての試みである川の水質検査のみを子供達と行いました。その後、講師の北城先生の手描きのイラストを見せていただきながら、外来種や生物のつながりのお話を聞きました。

これを機に、地元の川や田んぼ、そこに息づく小さな生物に至るまで関わり合って生きていることに気付き、少しでも興味・関心を持ってくれる子供がいれば幸いです。それが「松尾の子供は松尾で育てる」活動になったのではないかと思えるからです。

盆炊さんを、高学年から低学年まで、一緒になって作ります。普段の子供達と違う所が見えてきます。稽古は、毎週火・土曜日午後六時三十分より松尾小学校体育館で行なっています。礼節を重んじ二時間ほど、基本稽古の繰り返しです。継続は力なり、まわりの人達への感謝の気持ち、一つの事に対して集中出来る精神を養う事を目指して、稽古に励んでいます。

松尾和太鼓教室

スポーツであり音楽でもある太鼓を楽しむ

和太こ 四年 飯島雅人

当教室は現在一年生から六年生まで十六名が週一回稽古に汗を流しています。

十六名の打つ太鼓の音が一つになるため、一つのフレーズを繰り返し繰り返し打ち続ける事も…。左右の手だけでなく体全体を使って太鼓を打つとやがて汗が吹き出てくる、そして太鼓の響きを耳と体で受けとめる、太鼓がスポーツであり音楽でもあるゆえんです。

「元気な声」「笑顔」で楽しく太鼓を打とう。

これから夏祭りなどで演奏する事が楽しみな和太鼓教室です。

ぼくは、四月から和太こを始めました。最初は、手やうでがいたくなり、たたくのがむずかしく足もふんばっているのでいたかったです。なかなかそろわなかったえんそうも、最近はみんながそろってたたけるようになりました。お母さんからたたくしせいがよくなったと言われて、練習に行くのが楽しくなりました。和太こは、体全体を使ってたたくので気分がすっきりします。これからお祭りなどで発表するのでがんばりたいです。

松尾少年野球教室

松尾少年野球教室の近況と課題

保護者代表 橋爪昭三

松尾少年野球教室は、現在四十三名の子供達が、練習し楽しく毎週すごしています。

五月には松尾主催の大会を始め、龍峡大会等数多くの大会が終了し、後半は秋の大会や、六年生、五年生以下の大会が毎週のようにあります。

昨年までは二年生以上の募集でしたが、今年からは、一年生以上がメンバーに参加しています。三年生以下の教室は、毎週日曜日となっていますが、チビッコらしく、元気に楽しく練習しています。四・五年生は同行練習をし、大会ではまだ優勝はしていませんが、練習試合では、多く勝っています。六年生は、最高三位とこちらもまだ優勝はしていません。後半に向け子供達の練習にも熱が入って来ました。残り約三ヶ月となって優勝の声も近く聞けそうです。

保護者一同も、子供達が一年間楽しかった、良かったと言ってもらえる事だと、確信をして応援しています。

『ガンバル』ぞ!!

編集後記

軽い気持ちで受けた役が、なぜか広報部長兼副会長となってしまい、たいへんとまどいましたが、二年間、精一杯頑張らさせていただきますので、よろしくお願い致します。

また、本号の発行にあたり、お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、ご協力をいただいた皆様に、厚く御礼を申し上げます。

広報部長 熊谷吏花

立ち上がる ふるさと

松尾小学校校長　北沢彰利

地域のつながりが薄れて、人情豊かなふるさとの風景が消えていくと言われています。確かにそうした危機感はありますが、私は一方で、子どもたちを守り育てるために地域が確かに立ち上がってくれている、という実感があります。

今、小学校へ通っている子どもたちが、大人になって「あなたのふるさとは、どんなところですか」と問われたとき、木々や水の美しさと共に、登下校に辻々に立って安全を見守り声をかけてくださった方々の姿を思い浮かべることと思います。クラブのときに、確かな技能とあたたかい心で、水引細工や郷土料理など教えてくださった地域の方を思い浮かべる子も多いでしょう。

地域での行事も、育成会の方々のご努力で復活してきています。地域施設の清掃という地道な活動から、夏や冬の楽しい行事まで、子どもたちは、地域の中で確実に育てられています。

子どもたちにとっては、こうして自分たちに関わってくださる地域の方々そのものが、ふるさとなのです。子どもたちは、大人になったとき、「わたしのふるさとは、きれいな自然と地域の方のあたたかい笑顔がある」と、胸を張ることでしょう。

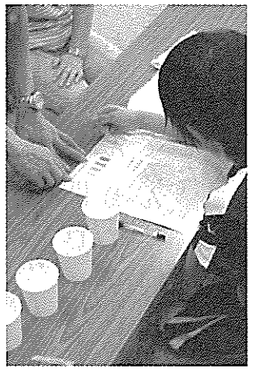
大震災は、今もなお胸が痛むできごとですが、現地の方々の協力し合う秩序ある行動は、高く評価されています。その心をつなぐ地域のあり方が、この松尾地区にも確かに生きていると実感しています。育成会の皆様が、その大切な部分を担ってくださっています。これからも、地域の子どもたちに、ふるさとを届ける活動を、よろしくお願いいたします。

新しい発見

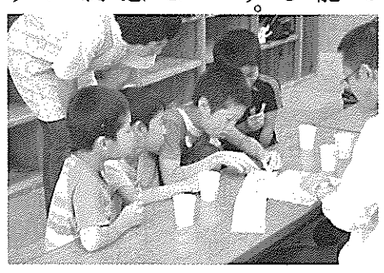
伊藤　篤

～松尾の川の水中生物をつかまえよう～

「変わった、変わってきたよ」松ぼっくりに響き渡る歓声。今年の【松尾の川の水中生物をつかまえよう】は雨天の為、川に入る事ができず初めての試みとして【川の水調査セット】を使い中溝川（なかみぞがわ）の水質検査をしました。５種類の異なる薬の入ったチューブを手にした子供達は、最初は慣れない実験に戸惑っていましたが、時間の経過でチューブの中の水がピンクや緑へと変わっていく様子に驚き目をキラキラと輝かせていました。



さて、この調査で分かったことは硝酸態窒素の値が高かった事です。この値の高い川の上流まで流域一帯で多くの汚れが流れ込んでいる可能性があるようです。ザリガニやヤゴなどが生息し一見綺麗な川に見えますが、実際には汚れているのです。子供達の未来の為に、青少年健全育成会として河川の浄化について考えてゆく必要性を感じました。



きれいな川の水

四年　熊谷沙奈

私は、川に水中生物をつかまえに行ったのですが、雨で行けなかったので、水のけんさをしました。薬の入っている入れ物に、川の水をすい取ると、三、四分後に色が変わって、その色の変化で、川の水がきれいか調べるというものでした。

中溝川はきれいな水なので、いろんな生物がいる事がわかりました。こんな川がたくさんあったらいいなと思いました。

クラブ・教室だより

松尾ジュニアバレーボールクラブ

代表　平栗信吾

今年度は新たに下久堅地区より二名のクラブ生が加わり、三年生から六年生まで合せて全部で二十一人で、週に二日、火曜日と土曜日に緑中体育館で練習を重ねています。

ほぼ毎月ある大会に加え、近隣チームとの練習試合や遠征に参加し、とても充実した活動をしています。

今年は五月に高山へ一泊二日で遠征に行って来ました。岐阜県、富山県、石川県、長野県より集まったチームが二日に渡りブロック戦からトーナメント戦へ進みます。初めて会うチームとの試合は、クラブ生はもちろん、指導者もとてもいい刺激になります。宿舎でもクラブ生同士、指導者、保護者の交流もとても盛り上がり、楽しみな年間行事となっています。

あいさつをする。感謝する。まけるなの精神で自分に勝つ。この三つをテーマとし、「心をひとつに全員バレー」で頑張っていきたいと思います。

松尾公民館柔道クラブ

頑張ってます

ある日の稽古風景

指導者「乱取り稽古、お互いに礼。」

子供達「お願いします。」

指導者「声が小さい！全員腕立て！」

子供達「はい。」「一、二、三…。」と素直に始める。

指導者「はいもう一度、礼！。」

子供達「お願いしまーす。」

なぜか、大きな声で挨拶すると「しまーす。」と変に伸びてしまう。しかし、耳が痛くなる程大きな声。

松尾公民館柔道クラブは、現在未就学児二名（見習い含む）小学生十九名、中学生十六名の総勢三十七名で活動しています。

小学生は、冒頭の風景のように大きな声を出しながら元気に動きまわり、中学生は、指導者の愛情溢れる（？）厳しい指導のもと、稽古に励んでいます。

投げられたり、蹴られたり、怒られたり、怒鳴られたりとキツい事ばかりなのに、毎回欠席者が少ない不思議なクラブです。

火・金の夜七時からミニ体育館で行ってます。ヨロシク！

松尾公民館剣道部

頑張る子供達

松島王映

小学生十九名、中学生三名、指導者六名で活動しています。活動内容として、年二回の大会、年二回の昇級審査会、夏のお楽しみ会など、行事があります。今年は、六月十二日の南信大会団体戦において、ベスト８に入賞する事が出来ました。又、六月十九日の飯伊大会個人戦において、準優勝一名、三位三名が、入賞する良い結果が出来ました。普段の稽古でも、暑い時、寒い時も、一生懸命稽古頑張った結果だと思います。七月のお楽しみ会は、野外活動で子供達が中心になり、飯